



学校だより

おおくぼ

令和5年2月20日発行
すべきことを
ていねいに！
1人1人が宝物！



ホームページ
QRコード



大平小との棒踊り交流会！

2月10日、本校を会場として串間市(とは言っても、本校から車で10分弱)の大平小学校との2年ぶりの交流会を行いました。135年程前に寺村地区の有志が大平地区から学んで伝えた棒踊りですが、今のように映像などなかった時代の伝達ですから、現代の棒踊りは、根本は同じながらそれぞれに特徴があって、それがまた魅力的でした。

両校の児童は、唄い手に合わせて元気いっぱい踊りを披露した後、保存会の方々からお話をうかがいました。大平小は来年度から休校ということで、最後の交流会となり、感慨もひとしおでした。

このような素晴らしい地域の伝統芸能を受け継ぐことを誇りに感じ、後世に伝えていってほしいと思います。そして、いつかまた、何らかの形で交流ができることをお祈りしています。



新春子どもの声を聴く会

日南市小・中学校の代表が小村寿太郎記念館に集い、意見発表を行いました。本校からは、6年生の心さんが『ふるさとの宝「剣棒踊り』という表題で、堂々と発表しました。内容を紹介します。

皆さんは「伝統芸能」と聞いて、何を思い浮かべますか？私はまずここで、剣棒踊りを紹介したいと思います。飢肥城下祭りなどで皆さんもご覧になったことがあるかもしれません。大窪の寺村地区に伝わる伝統芸能で、その昔、串間市大平地区から伝わったとされています。

剣棒踊り保存会の方々がこれまでずっと、一生懸命、大窪小児童に教えてくださっています。

私が一年生の2学期頃から運動会に向けて練習し始めました。剣棒踊りは一番から三番まであります。一番は棒、二番は剣、三番は前の人が棒で、後ろの人が剣です。踊りがそれぞれ違って、最初は足の動きが覚えられず、どんなに丁寧に教わっても意味がわからなくて泣きそうになりました。もうやめたいと思ったこともあります。でも、徐々に覚えていき、今では下級生に教えることができるようになりました。教えることは楽しいです。また、現在、保存会の方から教わっている時もやはり楽しいです。剣棒踊りをとても誇らしく思います。

最近思うことがあります。それは私が卒業した後のことです。私は今、前列の真ん中で踊っています。真ん中は、端の人と動きが違うので、「私の代わりに踊る人は大変だろうな。教えてあげたかったな。」と思います。みんなと一緒に踊れなくなるのは寂しいです。もし私が大窪小に通っていなかったら、こういう伝統芸能にふれることもなかったと思うと、全校児童みんなで剣棒踊りを踊ってきたことは、私にとって小学校生活一番の思い出です。



私がこの剣棒踊りを通して学んだことは、すばやい動きで打ち合うので、人と声や呼吸を合わせる事、みんなと心を合わせる事です。そして、地域の方々が、どれだけ大事にこの剣棒踊りを受け継ぎ、次の世代に継承しようと努力されているか、ということです。大窪小児童の数は少なくなりますが、ふるさと大窪の宝として、この剣棒踊りは、続いていってほしいです。そのために、例えば、教えたり参加したりして、自分にできるお手伝いはしていきたいと思っています。

地域の人たちが大事に守ってきたものを、私も大切にしていかなければと思います。

☆フックトーク☆

図書司書の多田先生が6年生に授業をしてくださいました。読み聞かせを通して、知覧特別攻撃隊について理解を深めたり、鹿児島クイズで偉人について学習したりしました。心さんは、11月の修学旅行での学びを生かしながら、楽しんで参加していました。紹介された本を是非読んでみましょう。



入賞作品等の紹介

<日南市読書感想画コンクール>

入選 杉田 結愛(4年)

<日南市善行児童表彰>

田中 心(6年)

<旅する読書>

100冊 杉田 悠馬(3年)

100冊 田中 心(6年)

今年度最後の参観日



各々が選択した曲をリコーダーで演奏しました。



4月から総合的な学習の時間に、「かつお漁」について、各自予測をたて、調べてきたことをロイロノートを使って発表しました。



業間の時間に、「長縄」の発表をしました。全員で心を合わせて跳びました。そうしたら、これまでの最高記録を出すことができました。良い思い出になりました。



各自が選んだ技を皆さんの前で披露しました。これからもいろいろな技に挑戦してくださいね。



3月行事

1(水)読み聞かせ(廣中さん)

3(金)お別れ遠足、弁当の日

7(火)卒業式練習、

PTA 運営委員会

9(木)ハートフルタイム、たいよう号来校

10(金)卒業式予行練習

21(火)(祝)春分の日

23(木)卒業式

24(金)修了式

30(木)離任式

